

7 広域自立生活圏の形成に向けた都市基盤の整備促進について

(国土交通省)

(中国地方整備局)

提案の要旨

活力ある都市づくりを支える基盤である都市圏交通網及び流域下水道の整備促進

現状及び課題

【現状】

都市交通網

物流の効率化，広域連携の推進を図るための重要港湾，高規格道路 IC 等の主要交通拠点へのアクセス道路や都市内の主要幹線となる放射・環状型道路の整備を進めるとともに，鉄道により分断された市街地の一体化を図るための連続立体交差事業に取り組んでいる。

流域下水道

平成 17 年度末における広島県の下水道普及率は 64.2% で，全国平均の 69.3% より低位にあり，安全で快適な生活環境の確保や，健全な水環境の維持・向上のため，一層の整備促進に努める必要がある。

【課題】

都市交通網

活力ある都市づくりや本県経済の再生を図るためには，それを支える重要な都市基盤であり物流効率化，広域連携推進に資する主要交通施設へのアクセス道路の早期整備や，分断されている市街地の一体化と交通円滑化を図る道路と鉄道の連続立体交差化を早期に実現する必要がある。

流域下水道

本県の下水道処理人口普及率の向上を図るとともに，県内における普及率の地域格差を是正するためには，各施設整備に係る補助制度の拡充が必要となっている。

芦田川の中・下流域等では，BOD(生物化学的酸素要求量)の環境基準が未達成となっているなど，汚水による水質の汚濁が改善されていない水域がある。

これまでの取組状況及び前年度提案結果

【取組状況】

都市交通網

(1)城町中之町線	昭和 48 年 8 月	都市計画決定	
	平成 13 年 7 月	事業認可	～現在 用地買収及び工事促進中
(2)長江線	昭和 8 年 6 月	都市計画決定	
	平成 16 年 2 月	事業認可	～現在 用地買収及び工事促進中
(3)神辺水呑線(期)	平成 17 年 7 月	事業認可	～現在 用地買収促進中
(4)連続立体交差事業	平成 14 年 3 月	事業認可	～現在 用地買収促進中

流域下水道

太田川流域下水道(瀬野川処理区)	昭和 63 年度	処理施設供用開始，平成 13 年度	幹線完成
芦田川流域下水道(芦田川処理区)	昭和 59 年度	処理施設供用開始	
	平成 5 年度	芦田川幹線完成，平成 9 年度	沼隈幹線着工
沼田川流域下水道(沼田川処理区)	平成 7 年度	処理施設供用開始，	
	平成 3 年度	沼田川幹線着工	

【前年度提案結果】

都市交通網

道路整備計(全国枠国費) 2,872,708 百万円(対前年度比 97.5%)

うち街路(全国枠国費) 336,839 百万円(対前年度比 96.3%)

流域下水道

下水道事業(全国枠国費) 696,288 百万円(対前年度比 94.7%)

提案の内容

都市交通網

(1) 都市計画道路整備の着実な実施に向けた財源確保を行うこと

路線名	事業区間	事業延長	計画幅員	車線数	総事業費
都市計画道路 城町中之町線	三原市中之町	992m	18m	2車線	約 45 億円
都市計画道路 長江線	尾道市栗原町 ～長江3丁目	878m	12m	2車線	約 60 億円
都市計画道路 神辺水呑線 (期)	福山市東手城町 ～曙町	1,200m	25～69m	4車線	約 120 億円

(2) 広島市東部地区連続立体交差事業の着実な実施に向けた財源確保を行うこと

- ・事業主体 広島県，広島市
- ・事業箇所 安芸郡海田町，安芸郡府中町，広島市安芸区・南区
- ・事業内容 J R 山陽本線・呉線の高架化

総事業費 約 960 億円

区分	概要
高架化区間	J R 山陽本線 約 4.6km (安芸郡海田町石原～安芸郡府中町鹿籠一丁目) (うち広島市域分 約 1.9km) J R 呉線 約 1.7km (広島市安芸区矢野東一丁目～海田市駅)
線数	J R 山陽本線 4 線，J R 呉線 1 線
除却踏切	J R 山陽本線 16 箇所，J R 呉線 4 箇所

流域下水道

流域下水道事業を推進すること

太田川，芦田川，沼田川流域下水道事業の着実な実施に向けた財源確保を行うこと。

(平成 18 年度末時計画)

流域 下水道	処理区分	事業期間	規模 (処理計画人口)	総事業費	備考
太田川	広島市，府中町，海田町，熊野町，坂町	昭和 53 年～	325,460 人	1,402 億円	
芦田川	福山市，府中市	昭和 49 年～	478,120 人	1,362 億円	
沼田川	三原市，東広島市	平成 2 年～	96,670 人	500 億円	